

「堺ラグビースクール 30周年記念メッセージ」

中西 克治

堺創立30周年おめでとうございます。

本来であれば来賓の皆様をお迎えすべきところでございますが、体調不良でこのようなメッセージ参加になり申し訳ございません。

思えば30年前、代読して頂いている元副校長新日鐵の杉江先生。大阪府警の元指導委員長 川崎先生と運命的な出会いをし、その輪が膨らむように地元ラグビー関係者、地元企業ダイキン工業様、新日鐵住金様、清恵会病院様のご支援とご協力をいただいて堺ラグビースクールが昭和62年に堺の地に誕生しました。

思い起こせば、この30年、本当にいろいろな事がありました。初めての合宿は生徒も指導者も初体験、保護者から泣きわめき離れない子、夜は夜で喘息発作で眠れない子と本当に右往左往のスタートでした。

そんな中、大阪スクール大会で優勝する学年が出てくるようになりました。生徒の喜び泣く姿には、こちらもこれまでの努力が報われた思いがいっぱいで一緒になって泣いたことを、今も鮮明に覚えています。

堺で猛威を振るった「O157」夏合宿予定の宿舍から、堺の人は受け入れられないと宿泊拒否を受けたこともあり複雑な気分を味わいました。

そんな中、一番嬉しく遣り甲斐を感じることは、多くの卒業生がラグビーを続けてくれていることです。

日本代表になってくれた子も、トップリーガーとして活躍している子も、全国高校大会に出場し優勝メンバーになった子もいました。

そんな順風満帆の中に「忘れてはいけない、忘れられない」事故を起こしてしまいました。

平成22年8月22日、鳥取県大山での夏合宿、当時中学1年生の奥田亮介君の尊い命を亡くしてしまったことです。

本当に残念で悔いても悔いきれない事故でしたが、その後のスクール活道を大きく変革するエポックメイキングになりました。

尾原前校長を中心に検討、処置対策規律が設けられ再開への道筋がつけられました。

それには何よりも奥田家の深いご理解とご協力があつてできたことです。本当にありがとうございます。

卒業生は600人を超える人数に、なります。ラグビーだけでなく多方面で

活躍していることを聞くと「堺ラグビースクール」を、本当に作って良かったと心から感じます。

その子供達を育て送り出していたのは多くの指導者です。指導者の皆様有難うございます。

これからもスクールの目的三か条を忘れることなくスクール発展にご協力よろしくお願いします。

最後になりましたが堺ラグビースクールはやっと30年を迎えた若輩スクールです。

どうぞこれからも堺ラグビースクールを宜しくお願いします。

私も一日も早く体調を整え皆様方と楯円球を追いかけたいと思っております。

みんな待っててくれよ